



Gift Show Exhibitor

日本のマチを持続可能なカタチに 情報発信と首都圏の企業・人と地方をつなぐ取り組みで地域を支援

ギフト・ショー注目の出展者「一般社団法人メイド・イン・サステイナブル・プロジェクト」

【問】一般社団法人メイド・イン・サステイナブル・プロジェクト <https://madeinsustainable.org>

一般社団法人メイド・イン・サステイナブル・プロジェクト（MISP）は2021年5月の設立。「持続可能な社会を目指して活動する人々が参加し、つながるプラットフォーム」を目指して意欲的な取り組みを進めており、この2月8日から10日にかけて開催される第93回東京国際ナショナル・ギフト・ショーにも出展する。

MISPの代表理事を務めるのはメイド・イン・ジャパン・プロジェクト株式会社（MIJP）代表取締役の赤瀬浩成氏だ。同社は2005年の設立以来、地域のモノづくりを支援する事業を展開。取り組みを進める中で、首都圏と地方をつないで地域全体を支援する重要性や多くの人にサステイナブルをより身近に感じてもらうための情報発信の必要性を実感したという。そこで「日本のマチを持続可能なカタチにしたい」という思いからMISPの設立に参画した。

MISPでは、首都圏の企業・人と地方をつなぐために、持続可能性に配慮した取り組みの紹介、持続可能性を高めようとする企業や組織のネットワークづくり、持続可能性を検討するための研修・講演会の開催などに取り組む。具体的には21年6月に公式Webページを立ち上げ、全国各地のサステイナブルな取り組みを紹介する「サステイナ・ニュース」やサステイナブルな取り組みを進める企業に取材した「企業インタビュー」などを掲載する。

またMISPではアンバサダー制度も導入。理念・活動に共感した女優の鈴木杏樹氏、アテネオリンピック柔道



▲ MISPの理念、活動に共感しMIJPがオープンしたSustaina Station DaiDai

銀メダリストで柔道家の泉浩氏、パーソナリティー・書家の矢野きよ実氏、元プロサッカー選手・タレントの青山隼氏の4名がアンバサダーを務めており、各々のサステイナブルな取り組みをWebページで発信する他、実際に現場を視察・体験した動画などはYouTubeなどでも配信している。

またMISPでは、東京有楽町に、持続可能な社会の実現を目指し活動をする団体などが利用できる貸しギャラリー「spaceS」も展開。一方21年7月にはMISPの取り組みを支援する意味合いで、MIJPがspaceSの近隣に東京の有楽町に持続可能なモノ・コト・ヒトに出会う場所「Sustaina Station DaiDai」をグランドオープンしている。オープニングイベントには鈴木氏、矢野氏も参加した。Sustaina Station DaiDaiではサステイナブルな取り組み、食、モノづくりとの出会いを提供しており、MISPがコンテンツ提供や情報発信に協力する。

地道に、そして着実に取り組みを進めるMISP。今後は、日本の現状や実態に即した独自の「SDGsの課題目標」などを設定していくことも視野に入れる。

「MISPでは『誰一人取り残さない心響き合う豊かな国』を目指しています。日本には、伝統産業やモノづくりを含め、持続可能性に優れたものが多くあります。今後もWebページなどでそうした取り組みや情報も発信し、首都圏と地方をつないで、持続可能なマチづくりに貢献していけたらと考えています」（MISP 事務局長 田中博美氏）



▲ MISPの公式ページではサステイナブルについての情報を発信